

令和4年度 授業改善プラン 第4学年

【各教科の課題と授業改善策】

| 教科 | 課題 | 改善策 | 評価 |
|-------|--|---|----|
| 国語 | ・段落の関係や場面の移り変わりに気を付けて文章を読むこと。 | ・授業や宿題で音読を続け、言葉の意味を考えて正しく文章を読むことができるようにする。 | |
| 算数 | ・問題場面で分かっていることと求めていることを考えて取り組むこと。 | ・問題場面から式を立てる際に、表にまとめ直したり、図に整理したりする活動を取り入れることで、根拠をもって取り組むことができるようにする。 | |
| 社会 | ・資料から読み取ったことや考えたことを、書いたり話したりして友達と伝え合うこと。 | ・学習課題を意識して、写真やグラフ、表などの資料から読み取ったことを整理し、自分の意見を友達に伝えることができるように、課題提示を工夫する。 | |
| 理科 | ・予想を確かめるための観察や実験の方法を考えて取り組むこと。 | ・予想、実験観察、結果、考察という学習過程を繰り返しながら学習を進める。 | |
| 体育 | ・自分のめあてに向けて活動の仕方を工夫すること。 | ・学習カードを作成し、個々のめあてを明らかにする。 | |
| 総合 | ・多摩川についての課題を追究するために、観察、調査などで情報を集めること。 | ・図鑑や本、タブレットの使い方を教え、個々の興味関心に基づいた調べ学習ができるようにする。 | |
| 音楽 | ・互いの声や音、副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、音を合わせて演奏したりする技能を身に付けること。 | ・友達の歌声や音、副次的な旋律、伴奏を聴きながら歌い、声を合わせて歌う活動や音を合わせて演奏する活動を多く設定し、音を合わせる活動に慣れていくようにする。 | |
| 図工 | ・未経験の道具の使い方を覚え、思うように使うことができるようになること。 | ・鋸、電動糸鋸、彫刻刀、カッターナイフといった刃物系から、版画ローラー、ばれんといった特定の表現技法に用いる道具の使用方法和表現の指導を行う。 | |
| 外国語活動 | ・外国語を使った表現に慣れ親しみ、実際に使ってコミュニケーションをとること。 | ・外国語で身に付けたい表現について繰り返し練習し、日本語の意味を確認しながら表現を身に付けさせる。 | |

※年度末に、各改善策の達成状況について評価をする↑